

合成木材

880-70301E

格子ユニット（壁付タイプ）

取付説明書

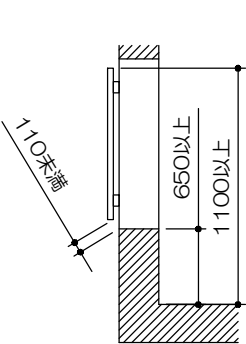
●このたびは、『合成木材 格子ユニット』をご採用いただきましてありがとうございます。  
●商品の組み立ておよび施工には、この取付説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

注意

- 木造住宅の3階以下（格子上端9m以下）に設置してください。  
●設置高さ・すき間寸法に注意して取付けてください。  
●安全柵としての使用はお止めください。  
●製品を躯体に取付ける際は、必ず躯体柱などの構造材に取付けてください（柱へのネジ込み深さ：35mm以上）。
- アンカーなどを使用してモルタル部分だけで固定することは絶対しないでください。  
●組立ネジは使用中緩まないように締付けてください。  
●シーリングは指定箇所に行ってください。  
●注意ラベルは必ず指定箇所貼り付けてください。  
●施主様には、1世帯ごとに取扱説明書を必ずお渡しください。

取付位置について（壁付タイプ）

- 取付場所により、安全のため下記の設置高さ・すき間寸法をお守りください。



部品の確認

◆製品本体			
●本体セット	●胴縁補助	●胴縁キャップ	●サラタッピンネジ φ4×20（ガイド付）
●六角タッピンネジ φ6×75（1種）	●ナベドリルネジ φ4×16	●ワッシャー φ6用	●注意ラベル
		●スプリングワッシャー φ6用	
			<div>注意</div> 製品にのぼったり、ふらさがったり、足をかけたりしないでください。


組立手順

1 胴縁キャップの取付

本体セットの胴縁両端部に胴縁キャップをサラタッピンネジφ4×20（ガイド付き）で固定してください（図1）。

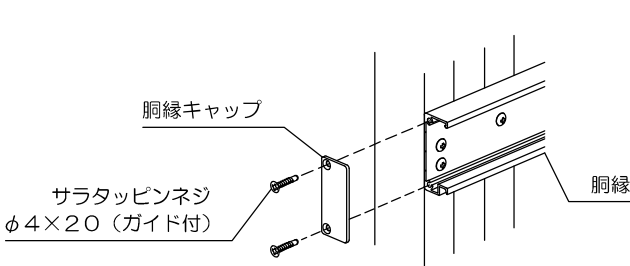


図1. 胴縁キャップの取付

注意  
●本体セットを連結する仕様の場合は、左右両端側の本体セットに胴縁キャップを取付けてください（図2）。

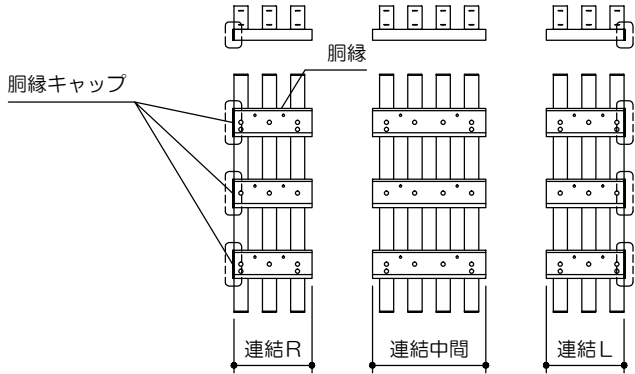


図2. 胴縁キャップの取付（連結仕様）

2 取付位置の墨出し

取付位置に支柱等が入っていることを確認し、胴縁補助を壁にあてがうなどして胴縁補助の取付位置を墨出ししてください（図3）。

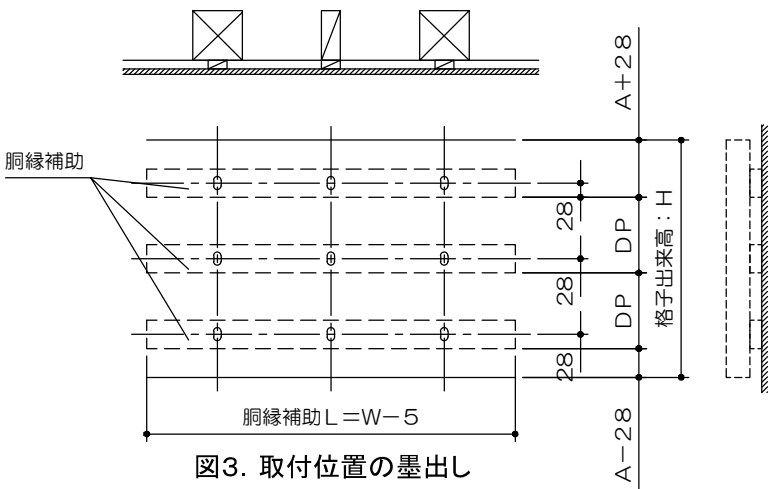
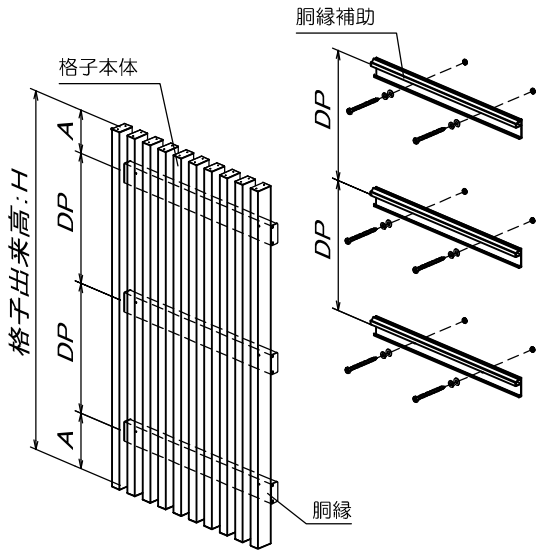


図3. 取付位置の墨出し

●胴縁ピッチDP計算式

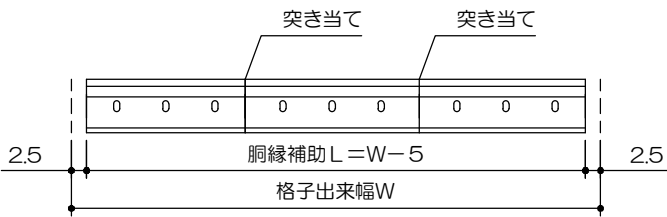
$$DP = \{ H - (2 \times A) \} \div (N - 1)$$

A : 下表参照  
N : 胴縁本数（下表参照）

格子出来高H	A
H≤800	100
H>800	150

格子タイプ	格子出来高H	N
30×50格子 30×50格子（P=80タイプ） 25×75格子 25×100格子 40×80格子	400≤H≤1200	2
	1200<H≤2100	3
	2100<H≤3000	4
100×25格子 （板塀タイプ）	400≤H≤900	2
	900<H≤1500	3
	1500<H≤2100	4

注意  
●胴縁補助を連結する仕様の場合は、胴縁補助同士を突き当てて隅出してください。



## 組立手順

### ③ 胴縁補助の取付

胴縁補助取付部に下穴(φ4.5)をあけ、シーリング材を充てんし、六角タッピンネジφ6×75(1種)で固定してください(図4)。

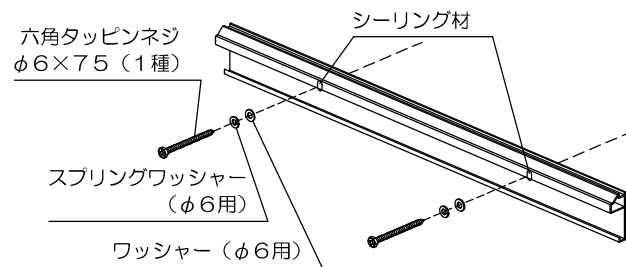


図4. 胴縁補助の取付

### 注意

- シーリング箇所には必ずシーリングを行なってください。

注意

- ワッシャー類をはめて、ネジで取付けてください。

#### 4 本体セットの取付

胴縁補助に本体セットをひっかけ、ナベドリルネジφ4×16で固定してください（図6）。

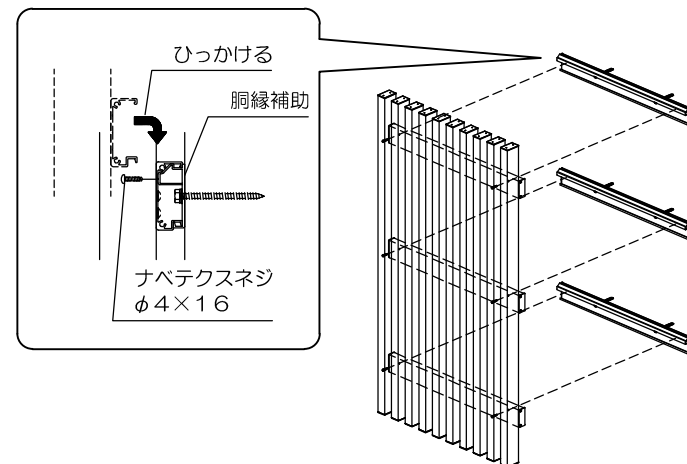


図6. 本体セットの取付

注意

- 胴縁補助間寸法が胴縁ピッチと合っていることを確認して取付けてください。

注意

- 胴縁補助を連結する仕様の場合は、胴縁補助同士を突き当てて取付けてください(図5)。

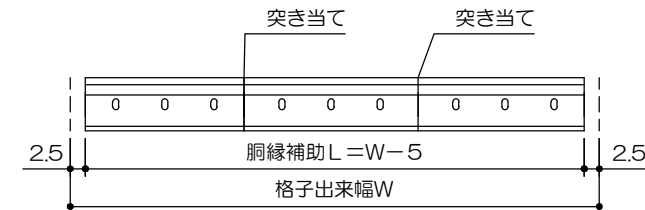


図5. 胴縁補助の取付(連結仕様)

注意

- 本体セットを連結する仕様の場合は、胴縁補助との左右両端のクリアランスを均等にして取付けてください(図7)。

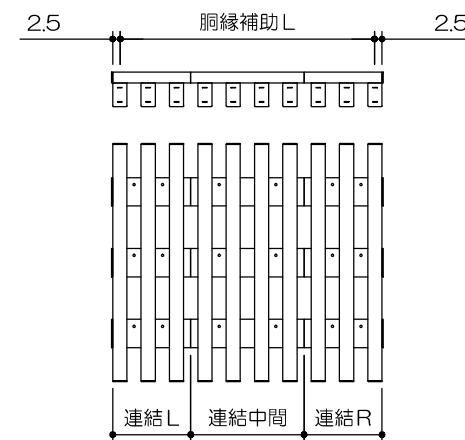


図7. 本体セットの取付(連結仕様)

## 5 注意ラベルの貼付

注意ラベルは、施主様の目の届く高さの見やすい位置（格子）に貼り付けてください（図8）。

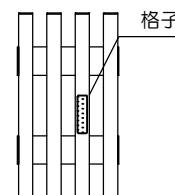
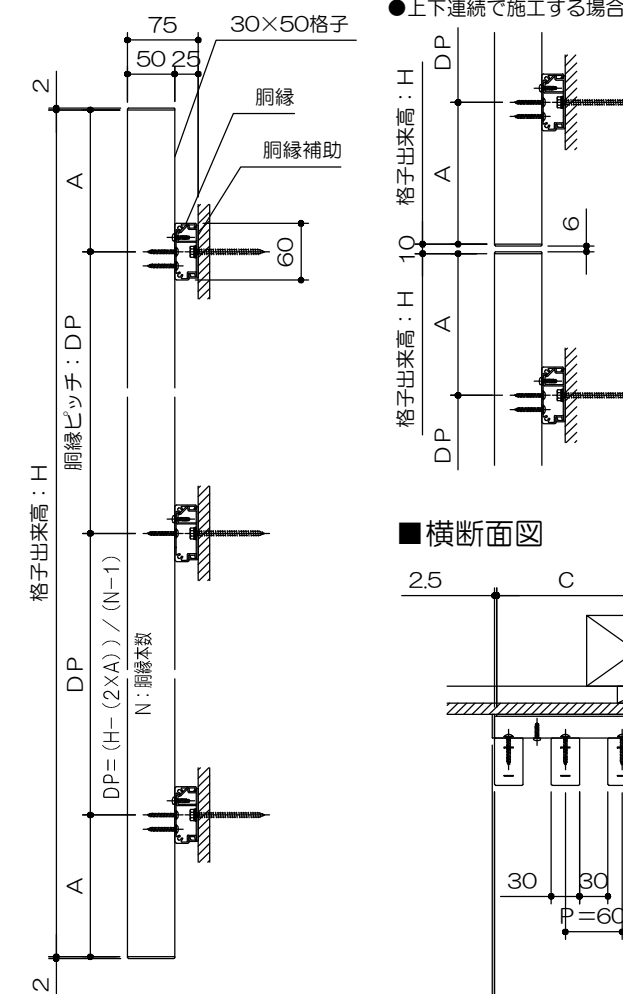


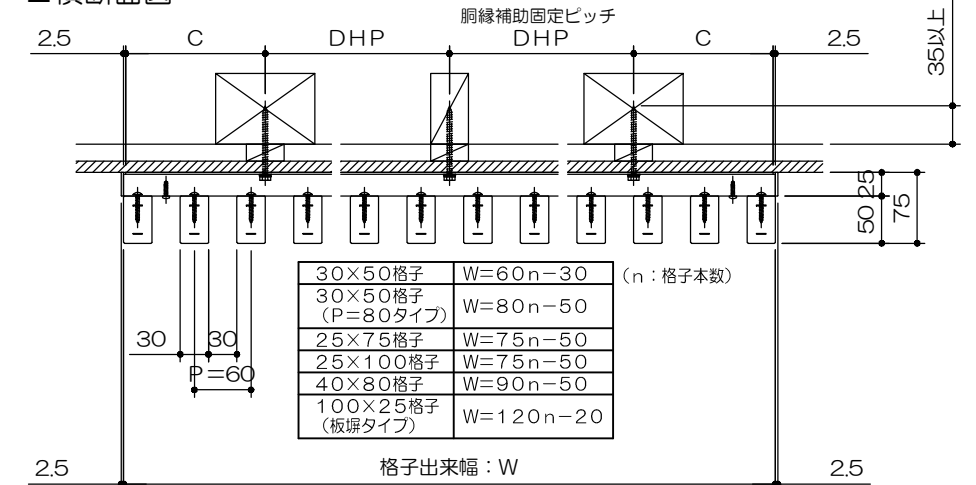
図8. 注意ラベルの貼付

参考納まり図 (30×50格子の場合)

### ■ 縦断面図



### ■横断面図



格子出来高H	A
$H \leq 800$	100
$H > 800$	150

格子タイプ	胴縁ピッチ：DP
30×50格子 30×50格子（P=80タイプ） 25×75格子 25×100格子 40×80格子	HP ≤ 900

格子タイプ	胴縁ピッチ：DP
100×25格子 (板塀タイプ)	HP≤600

### ■ 胴縁補助固定ピッチDHP計算式

W	DHP	C	胸縁補助分割数
$200 \leq W \leq 600$	W-125	60	1
$600 < W \leq 1300$	W-305	150	1
$1300 < W \leq 2300$	$(W-305) / 2$	150	1
$2300 < W \leq 2600$	$(W-605) / 2$	150	2
$2600 < W$	$(W - (a \times 300) - 5) / (a \times 2)$	150	a

$$a = W / 2300$$

(小数点切り上げ)

※Wが2600を超える場合、胴縁補助分割本数 a に応じて中間部に胴縁補助が増えます。

